

平成27年8月19日  
総務財政委員会

## 第三セクターの経営情報について

白島石油備蓄株式会社  
(平成26年度)

総務企画局



## 第三セクターの経営情報について 〔白島石油備蓄（株）〕

### 1 会社概要

#### （1）事業内容

- ① 石油備蓄基地の運転、保全及び安全防災に係わる事業
- ② 前号に付帯関連する事業

#### （2）会社設立及び本市の出資額・割合

会社設立	昭和56年6月8日
資本金	1億円（うち本市出資額5,000千円 出資率5.0%）

### 2 事業報告要旨

#### 【H26年度業績】

白島国家石油備蓄基地は、エネルギー安全保障政策として石油の供給途絶など緊急時に備え、国家備蓄として日本の石油消費量の約10日分の原油を貯蔵する洋上石油備蓄基地である。

平成26年度は、（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）との平成25年度から平成29年度までの5ヶ年に亘る白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約（以下「業務委託契約」という。）の2年度目にあたり大型工事である貯蔵船白島七号水封タンク内防食工事の完遂や貯蔵船白島四号泊地内検査工事の着手など、契約に定める業務を着実に遂行中である。

また平成26年10月に白島国家石油備蓄基地及びその周辺海域で開催された「平成26年度福岡県石油コンビナート等総合防災訓練」を通じて関係機関との連携強化や防災意識の高揚を図るとともに、協力会社と一体となったゼロ災運動などの安全活動を通じて、基地の安全・安定操業を継続している。

なお、業績については、当期は機構から8,606百万円の収入を得て、41百万円の当期純利益となった。

## 【H27年度の課題】

H27年度は、機構との業務委託契約の3年度目に当たり、貯蔵船白島四号泊地内検査工事の完遂やその他契約に定める業務を着実に遂行するとともに、平成27年度の会社目標である「安全・安定操業の継続」、「業務改善、コスト効率化の着実な実行」、「人材の育成・モラルアップの推進」、「地域社会との共生、環境との調和の強化」に向けて、基地の安全・安定操業に努めていく。

### 3 決算報告要旨

#### 損益計算書

自 平成26年4月1日  
至 平成27年3月31日 (単位：千円)

科目	金額
売上高	8,606,436
売上原価	8,147,433
販売費及び一般管理費	374,305
営業利益	84,697
営業外収益	3,155
営業外費用	0
経常利益	87,853
特別損失	0
税引前当期純利益	87,853
法人税、住民税及び事業税	44,328
法人税等調整額	1,910
当期純利益	41,615

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示

### 4 剰余金の配当

株主配当金に20,000千円（1株につき 2,000円）。

これに伴い、500株を所有する本市に対しては、株主配当金として1,000千円が支払われた。

### 5 その他事項

(1) 従業員数 85名（平成27年3月31日現在）

(2) 株主総会 平成27年6月23日、株主全員の同意により下記の議案が承認可決された。  
（会社法第320条及び319条1項の規定に基づく株主総会への報告・決議の省略）

第1号議案「第34期計算書類承認の件」

第2号議案「剰余金処分の件」

第3号議案「取締役全員（5名）任期満了につき取締役5名選任の件」

第4号議案「監査役全員（2名）辞任につき監査役1名選任の件」

# 第34期報告書

自 平成26年4月 1日  
至 平成27年3月31日

白島石油備蓄株式会社

# 事業報告

自 平成26年4月 1日  
至 平成27年3月31日

## 1. 事業の概況

### (1) 事業の状況

#### 【当期の業績】

当期における我が国経済は、生産・輸出の持ち直しや雇用環境の改善傾向が続くなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。また、平成26年4月には、国の今後のエネルギー政策の方向性を示す「エネルギー基本計画」が閣議決定されております。

このような経営環境の下、当社は、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」という。)殿との白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約(平成25年度～平成29年度)の2年度目にあたり、大型工事である貯蔵船白島七号水封タンク内防食工事の完遂や貯蔵船白島四号泊地内検査工事の着手など、契約に定める業務を着実に遂行中であります。

また、平成26年10月に白島国家石油備蓄基地及びその周辺海域で開催された「平成26年度福岡県石油コンビナート等総合防災訓練」を通じて関係機関との連携強化や防災意識の高揚を図るとともに、協力会社と一体となったゼロ災運動などの安全活動を通じて、基地の安全・安定操業を継続しております。

これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係機関ならびに地域の皆様からのご支援の賜物であり、心からお礼申し上げます。

業績につきましては、当期は機構殿から8,606百万円の収入を得て、41百万円の当期純利益となりました。

#### 【来期の課題】

来期は、機構殿との業務委託契約の3年度目にあたり、貯蔵船白島四号泊地内検査工事の完遂やその他契約に定める業務を着実に遂行するとともに、平成27年度の会社目標である「安全・安定操業の継続」、「業務改善、コスト効率化の着実な実行」、「人材の育成・モラルアップの推進」、「地域社会との共生、環境との調和の強化」に向けて、基地の安全・安定操業に努めて参ります。

株主各位におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 設備投資の状況

本社及び事業所において、会計システム等に係る設備投資を行っております。

(3) 資金調達の状況

借入等、資金調達は行なっておりません。

(4) 業績および財産の状況の推移

期 別 項 目	第 31 期 (平成 23 年 4 月 ～平成 24 年 3 月)	第 32 期 (平成 24 年 4 月 ～平成 25 年 3 月)	第 33 期 (平成 25 年 4 月 ～平成 26 年 3 月)	第 34 期 (平成 26 年 4 月 ～平成 27 年 3 月)
営業収益 (千円)	5,881,456	5,208,893	7,793,417	8,606,436
当期純損益 (千円)	43,573	48,174	29,448	41,615
1株当たり 当期純損益(円)	4,357	4,817	2,944	4,161
総資産 (千円)	2,248,716	2,190,641	3,152,420	3,850,374
純資産 (千円)	559,566	587,741	597,190	618,805

## 2. 会社の概況（平成27年3月31日現在）

(1) 設 立 昭和56年6月8日

### (2) 事業内容

- イ. 石油備蓄基地の運転，保全及び安全防災に係わる事業
- ロ. 前号に付帯関連する事業

### (3) 株式の状況

#### イ. 株式の総数

発行可能株式総数	10,000株
発行済株式の総数	10,000株

ロ. 株主数 5名

#### ハ. 株主

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
コスモ石油株式会社	3,938 株	39.38 %
株式会社商船三井	2,812	28.12
JX日鉱日石エネルギー株式会社	2,250	22.50
福岡県	500	5.00
北九州市	500	5.00

(注) 当社の上記株主への出資はありません。

### (4) 主要な事業所

本 社 〒107-6015  
東京都港区赤坂一丁目12番32号  
(03) 5574-7431 (大代表)

北九州事業所 〒808-0021  
福岡県北九州市若松区響町一丁目108番  
(093) 752-1460 (代表)

(5) 従業員の状況

区 分	男 子	女 子	合 計
本 社	13名	3名	16名
北九州事業所	66名	3名	69名
合 計 (前期末比)	79名 (前期比▲1)	6名 (前期比▲1)	85名 (前期比▲2)

平均年齢 41歳10カ月

平均勤続年数 11年0カ月

(6) 取締役および監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当 (兼務の状況) 等
代表取締役社長	瀧 嶋 輝 行	
専務取締役	川 口 修	
取 締 役	山 口 洋 史	経理部長
取 締 役	山 村 秀 省	業務部長
取 締 役	岡 田 隆 二	北九州事業所長
監 査 役	熊 澤 潔	(コスモ石油株式会社 常務執行役員 供給部長 兼務)
監 査 役	中 里 敦 彦	(JX日鉱日石エネルギー株式会社 CSR推進部 副部長 兼務)

## 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,274,316	流動負債	2,887,958
現金及び預金	465,998	未払費用	2,766,733
営業未収金	2,477,200	未払法人税等	27,764
前払費用	7,711	未払事業所税	8,207
未収消費税等	284,668	預り金	4,776
未収入金	931	賞与引当金	80,475
繰延税金資産	37,384	固定負債	343,610
その他	421	退職給付引当金	297,428
固定資産	576,057	役員退職慰労引当金	46,182
有形固定資産	26,674	負債合計	3,231,568
建物	16,430		
構築物	29	(純資産の部)	
工具器具備品	10,214	株主資本	618,805
無形固定資産	9,334	資本金	100,000
電話加入権	84	利益剰余金	518,805
ソフトウェア	9,250	利益準備金	20,550
投資その他の資産	540,047	その他利益剰余金	498,255
長期性預金	500,000	別途積立金	90,000
長期差入保証金	38,801	繰越利益剰余金	408,255
長期前払費用	1,200	純資産合計	618,805
繰延税金資産	46		
資産合計	3,850,374	負債及び純資産合計	3,850,374

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

自 平成26年4月 1日  
至 平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		8,606,436
売 上 原 価		8,147,433
売 上 総 利 益		459,003
販売費及び一般管理費		374,305
営 業 利 益		84,697
営業外収益		
受取利息	1,041	
雑収入	2,113	3,155
営業外費用		
雑損失	0	0
経 常 利 益		87,853
税引前当期純利益		87,853
法人税,住民税及び事業税	44,328	
法人税等調整額	1,910	46,238
当 期 純 利 益		41,615

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

(単位:千円)

	株 主 資 本					株主資本合計	純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金			利益剰余金 合 計		
		利益準備金	その他利益剰余金				
			別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	100,000	18,550	90,000	388,640	497,190	597,190	597,190
当期変動額							
剰余金の配当		2,000		△ 22,000	△ 20,000	△ 20,000	△ 20,000
当期純利益				41,615	41,615	41,615	41,615
当期変動額合計		2,000		19,615	21,615	21,615	21,615
当期末残高	100,000	20,550	90,000	408,255	518,805	618,805	618,805

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1.重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1)有形固定資産の減価償却の方法は、定額法を採用しております。

無形固定資産のソフトウェアの減価償却の方法は、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(2)賞与引当金は、従業員に対する賞与支給に充てるため、賞与支給見積額のうち当期対応分の金額を計上しております。

(3)退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職手当規程に基づく当期末自己都合要支給額を計上しております。

(4)役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく当期末要支給額を計上しております。

(5)消費税等の会計処理の方法は、税抜方式を採用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1)発行済株式の種類および総数に関する事項

	前期末株式数	当期末株式数	摘 要
普通株式	10,000株	10,000株	当期中の増減はありません。
計	10,000株	10,000株	

(2)剰余金の配当に関する事項

① 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成26年6月24日 定時株主総会	普通株式	20,000千円	2,000円	平成26年 3月31日	平成26年 6月25日

② 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力が翌期となるもの

平成27年6月の定時株主総会において、次の議案を付議する予定であります。

株式の種類	配当金の総額	配当金の原資	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
普通株式	20,000千円	利益剰余金	2,000円	平成27年 3月31日	定時株主総会 決議成立日翌日

## 監査報告書

私たち監査役は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第34期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第30条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たち監査役は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 27 年 5 月 28 日

白島石油備蓄株式会社

監査役 熊澤 潔 ㊟

監査役 中里 敦彦 ㊟

(参考資料)

白島石油備蓄株式会社 役員名簿

(平成27年6月23日現在)

地 位	氏 名	担当 (兼務の状況) 等
代表取締役社長	瀧 嶋 輝 行	
専 務 取 締 役	川 口 修	
取 締 役	山 口 洋 史	経理部長
取 締 役	山 村 秀 省	業務部長
取 締 役	岡 田 隆 二	北九州事業所長
監 査 役	水 井 利 行	(コスモ石油株式会社 監査室長 兼務)

# 白 島 石 油 備 蓄 株 式 会 社

本 社 〒107-6015 東京都港区赤坂一丁目12番32号  
電話 (03) 5574-7431 (大代表)

北九州事業所 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町一丁目108番  
電話 (093) 752-1460 (代表)